



ふじ もと とも こ
藤 本 智 子

にほんきょうざんとう つしぎだん
日本共産党津市議団

ベッド大幅削減の地域医療構想には異議を

問 三重県が進めている地域医療構想は、2025年には医療の需要が増えることを見込みながら、現行よりも600床もベッドを削減する計画を策定しようとしている。中でも、療養病床に入院している医療区分1の人の70%が在宅となることを想定しているが、受け皿がないままの移行は医療難民を生み出すことになる。こうした計画に異議を唱えるべきではないか。

答 これまでの三重県の説明を聞いている限りでは、この地域医療構想が地域医療を破壊しようとしているのではないかと、という疑念が消えない状況にある。単に数字だけの議論をしていますが、津市として地域医療を守っているのか、全体として地域医療が守られるのかが分からない状態で、これで良いとは言えないと感じている。

まずは、地域医療構想を進めても大丈夫であり、安心していただきたいという姿勢を、三重県が示さなければならないと考えることから、津市としても中身を精査した上で、三重県に対し、言うべきことは言っていきたい。

●その他の質疑・質問●

- 地域包括ケアシステムの構築に向けたマンパワーの確保を
- 平成29年度から実施となる新総合事業における財源保障を
- 地域包括ケアシステムに対応する市役所組織の見直しを
- 恒常的な時間外勤務の是正、職員体制の見直しを
- レークサイド君ヶ野に対する対応を改め、地域振興の拠点として位置づけを



▲レークサイド君ヶ野を地域振興の拠点に



かわ ぐち まどか
川 口 円

けんとう
県都クラブ

津市避難所運営マニュアルの充実を

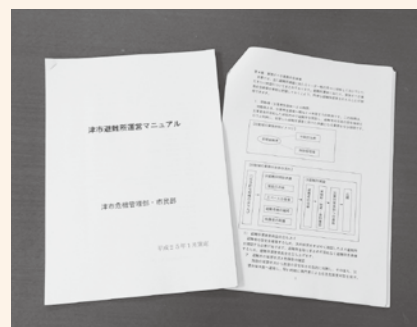
問 女性の視点も取り入れたマニュアルの改善と、他の自治体を参考にしたチェックリストの改善への取り組みは。また、熊本地震での問題点を踏まえ、見やすく、分かりやすいマニュアルへの迅速な対応を。津市避難所運営マニュアルの周知はどのようにしているのか。他の自治体と比較したことはあるのか。

答 マニュアルは、県の作成指針を基に作成しているが、見直しの必要性も感じており、他市のマニュアルも参考にし、見直しを進める。女性の視点については、女性特有の問題点を踏まえ、各施設において女性が独立した場所で対応できるような踏み込んだマニュアルを作成していく。

改善策については、他市の事例を参考に、避難所開設の手順・運営や時系列ですべき業務など、実際の避難所の写真やイラストも入れ、ポイントを絞った分かりやすい概要版の作成に取り組んでいく。周知は、各地区の自主防災協議会や学習会で説明しているほか、津市のホームページに登載している。

●その他の質疑・質問●

- 伊勢志摩サミットの効果と今後の取り組みについて
- 小・中学校の不登校の現状と取り組みについて
- ひとり親家庭への支援の現状と課題について
- 自治体が取組みべきポケモンGO対策について
- 公共施設における状況は
- 地域活性化対策としての取り組みは



▲改善が期待される津市避難所運営マニュアル